

石和健康ランドの旅 2022



2022年4月

旅のチカラ研究所 植木圭二

新型コロナウイルスで打撃を受けた観光地を救うべく宿泊費用の補助制度が各地で始まり、私はそれを利用して山梨県の石和（いさわ）にある石和健康ランドに妻と泊まってきた。この宿は“おふろ甲子園”で優勝した入浴施設で、その実力の程を実感してきた。

■山梨グリーンゾーン割引で泊まる

今回の旅のきっかけは山梨グリーンゾーン宿泊割引で、当初この制度は山梨県民限定の宿泊割引制度だったが、それが隣県の神奈川県民も使えるようになったということで私の格安旅行挑戦の心に火を点けた。割引の条件は新型コロナウイルスのワクチンを3回接種していることで、宿泊費が1人当たり5千円割引になり、飲食や土産物にも使えるクーポン券2千円分ももらえるから実質は7千円の割引になるという結構お得な制度になっている。

4月初旬の暖かい日、私が運転する車は中央高速道路を山梨に向かって快調に飛ばしている。

ところが山梨県に入って間もなくのこと、私はとんでもない忘れ物をしたことに気が付く。それはワクチンの3回接種証明書を自宅に置いてきたことで、引き返そうか、どうしようと、まず私はパーキングエリアに車を停めた。そして妻としばし話し合っって善後策を考えた結果、同居している息子の嫁にLINEを入れて接種証明書の写真を撮って送ってもらうことにした。

ありがたいことに直ぐに写真が送られてきた。

私は妻に「便利になったね。昔ならば戻るしかなかったから、時代は変わったね」と言うと、妻は「それより何よりも家に留守番が居ることが最大の勝因よ」と言っている。確かにそうだ、家に誰もいなければ戻らなければならなかった。

本日の宿、石和健康ランドに着きチェックインする。受付の女性スタッフはアイシャドウにラメをいれたお洒落な娘で、と言ってもげげげしい感じはせず清楚なタイプだ。私が初めての来館であることを伝えると、さらに親切に対応してくれる。もちろんLINEで送ってもらった証明書は有効だった。しかも12時30分なのに既に部屋の用意が出来ているとのことで、チェックインの15時を待たずに部屋を使える。ということは明日の朝11時のチェックアウトまで22時間以上も部屋を利用できるので、実に幸先が良い。



【石和健康ランド 外観とフロント受付】

■お風呂甲子園優勝

私が今回この石和健康ランドを選んだ理由は、山梨県出身の息子の嫁から、ここが“おふろ甲子園”で優勝した施設だと聞いたからだ。おふろ甲子園とは一体何なのか。一般社団法人ニッポンおふろ元気プロジェクトが運営している公式HPでは以下のように紹介している。

「おふろ業界から日本を元気に！」という想いを持つ全国の同志により開催され、温浴業界に働く人が最高に輝ける場を提供する大会で、全国からエントリーされた温浴施設のうち覆面調査員による審査を経て接客サービスが素晴らしいと評価された優秀店舗が決勝大会に集結する。ステージで自店の想いや取組みを発表して日本一の店舗を決定するもので、温浴業界で働いている人が夢や誇りを持てる大会にすることを目指している。

実に面白い取り組みをしている。

受付でもらったパンフレットに「24のお風呂でリラックス」と書かれていたので、部屋に荷物を置き、すぐに私は大浴場にやってきた。しかし脱衣場が広すぎて宿泊者用のロッカーの場所が分からず、近くにいた男性スタッフに訊ねる。彼は白髪で背が高く、私より少し年上らしいが温和な感じのする人で、丁寧に私をロッカーに案内してくれた。それだけでなく使いたい放題のタオルやバスタオルの置き場、返却口、好きなシャンプーが選べるシャンプーバーなどを親切に教えてくれた。受付嬢もそうだが、この彼も何か特別な対応をしてくれているようにさえ感じられる。ひょっとしたら私を覆面調査員と間違えているかのようだ。

お風呂はこの施設のメインだけあってさすが充実しており、内湯と露天合わせて相当数の浴槽がある。中でも印象的なのは横 11m、縦 5m、深さ 1m のプールのような浴槽で、温度も多少低く設定してあり温水プールと言った方が良いかもしれない。温水プールと異なるのは奥に打たせ湯があり、横にジャグジーやジェットバスがある。他にも面白い浴槽があり、やや大きめの壺湯は少しぬるい湯になっていて、看板には「親子でどうぞ」と書かれている。オムツをしている乳幼児と一緒に入ることを前提にしているから、幼い子連れには実にありがたい。

私が大好きなサウナも非常に充実しており、高温サウナ、低温サウナ、塩サウナ、ミストサウナと4つもある。サウナ4つは自称パワーサウナーの私にしても初体験になる。

唯一残念なことは石和温泉街の近くにあるのに、この健康ランドの湯は温泉ではないということだ。それゆえだろうか、薬草の湯、炭酸泉、ナノバブルの湯、ラジウム鉱石の湯など変わり湯の種類が多い。

これらの湯に全て入るだけでも結構時間がかかり、ハシゴ湯をしていたら 1 時間経ってしまっただ。さらにサウナでもう 1 時間かかり、水はたくさん飲んだが、私の体はパサパサになってしまった。それゆえ風呂上りのビールは何と美味しいことか、この上ないとはこのことだろう。

1 カ月程前に私は横浜の相鉄線沿線の上星川にある「満天の湯」に行った。なかなか素晴らしい入浴施設で沿線の住民にも人気がある。実は満天の湯は、おふろ甲子園で準優勝した施設だ。そして今、優勝した施設を体験して、これが優勝と準優勝の違いかと納得した。

■24 時間眠らない巨大施設

この施設はもちろん日帰り入浴もできて、その時間が驚くべきことになっている。午前 0 時～5 時で入館するとチェックアウトは当日の 24 時、つまり 0 時を少し過ぎて入館すれば 24 時間居られる。もっと凄いのは午前 5 時以降の入館はチェックアウトが翌朝 10 時になるというから 24 時間を超えている。日帰り入館料金 1980 円を払うだけで一晩過ごせる。

そんな日帰り入浴客のために仮眠がとれるテレビが付いたリクライニングチェアもある。

夜中のチェックイン対応ということは受付も大浴場も 24 時間やっている。ただしあの若い受付嬢たちが夜中までいるとは思えない。

受付の時にもらったルームキーはバーコードが入ったリストバンドにもなっており、これによって館内の会計がキャッシュレスで行える。それはレストラン、売店などスタッフのいるところ以外に、24 時間を意識してか館内に設置されている全ての自動販売機やゲームマシンでも使える。自動販売機は飲料だけでなくカップ麺、スナック、アイスクリーム、下着などかなりの種類がある。



【レストラン】



【売店】

宣伝する訳ではないが、ついでに館内をちょっと紹介しておく。

飲食としてはメインの大きなレストラン以外に、居酒屋、そば屋、お洒落な喫茶店もあり、価格は比較的リーズナブルだ。リラクゼーションは岩盤浴が 3 つ、エステサロン、マッサージ、アカスリ、そして無料のマッサージ機もある。娯楽としてはマンガ&インターネットルーム、カラオケルーム、麻雀ルーム、ゲームコーナーなど一通り揃っている。

宿泊は今回私たちが泊まったツインルーム以外に、シングルルーム、トリプルルーム、和室もある。どちらかというと少人数での宿泊がメインになっている。

■山梨県立リニア見学センター

翌日、山梨県立リニア見学センターに立ち寄る。私は 2 回目だが、妻にはどうしても最先端の鉄道技術の集大成を見せたくて連れて来た。案の定、大そう感激している。今度は孫を連れて来たいと言っており、確かに小学生くらいになれば衝撃的なものに映るに違いない。

この施設の詳細は半年前の旅行記「富士山と山梨の旅 2021」を参照して欲しい。



【実際に浮上走行するミニリニア】



【停車している実験線の走行車両】

■温泉評価委員会

私は温泉宿を評価する温泉評価委員会、通称「おひょい」を立ち上げている。それは温泉宿に泊まった時に組織される勝手気ままな委員会で、委員は同行した人になる。

評価の基準は、5は驚き感動、4は普通に良い、3は可もなく不可もない、2は普通に悪い、そして1は失望落胆としている。

今回泊まった宿は温泉宿ではないが、記録を残す意味で泉質以外を評価してみた。

石和健康ランドの泉質一、風呂 5、料理 3、コスパ 5、サービス 4、建物・部屋 4、立地環境 3、総合点 4.00 になった。

■旅の記録

行程は 2022 年 4 月 7 日（木）～4 月 8 日（金）で実施され、行程を以下に記す。

- ・ 1 日目 10 時自宅を出て高速道路でワクチン接種証明の忘れに気づいて連絡、12 時石和に到着し、昼食を済ませて 12 時 30 分石和健康ランドにチェックイン
- ・ 2 日目 11 時にチェックアウト、山梨県立リニア見学センターに立ち寄り帰宅

費用は 2 人で約 2 万円、内訳を以下に示す。

- ・ 宿泊費 宿泊入館料 12100 円（2 人分、ツインルーム素泊まり）
- ・ 飲食費 石和健康ランド内での飲食費 20 円（2 人分）
※施設内の飲食、土産物代で合計 10020 円かかったが、山梨グリーンゾーン割引の 5000 円×2 が充当され、都合 20 円の出費になった。その他に地域クーポン券の 2000 円×2 をもらった。
昼食代 約 2000 円（2 回の昼食、2 人分）
- ・ 交通費 往復の高速道路とガソリン代 約 5000 円
- ・ その他 山梨県立リニア見学センター入館料 420 円×2